

黒羽子観光農園活性化基本計画



令和6年12月

鹿屋市

- 目 次 -

第1章	計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	1
-----	-------------------------	---

第2章	計画の位置付けと期間・・・・・・・・・・・・	1
-----	------------------------	---

第3章	黒羽子観光農園及び周辺の現状・・・・・・・・	3
-----	------------------------	---

第4章	活性化計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
-----	---------------------------	---

(1) 基本方針

(2) 活性化計画の具体的取組

具体的取組1 自然の恵みを手に入れる“こころ豊かな農業体験”

具体的取組2 未来に紡ぐ“黒羽子観光農園”

具体的取組3 多彩な魅力がひろがる“周遊型大隅探訪”の旅

具体的取組4 黒羽子地域に息づく可能性 未来を耕す“地域共生の道”

(3) 黒羽子観光農園活性化計画イメージ図・・ 8

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
----------------------------	---

1年を通した収穫体験のイメージ

代表的な果樹の10a収益性標準

想定される経営イメージ

具体的取組のタイムスケジュール

第1章 計画策定の趣旨

近年の世界情勢に端を発した燃油をはじめとする農業資材の高騰、農業従事者の高齢化や若年層の農業離れによる担い手不足、耕作放棄地の増加、有害鳥獣による被害の拡大など、本地域農業は多くの課題を抱えています。

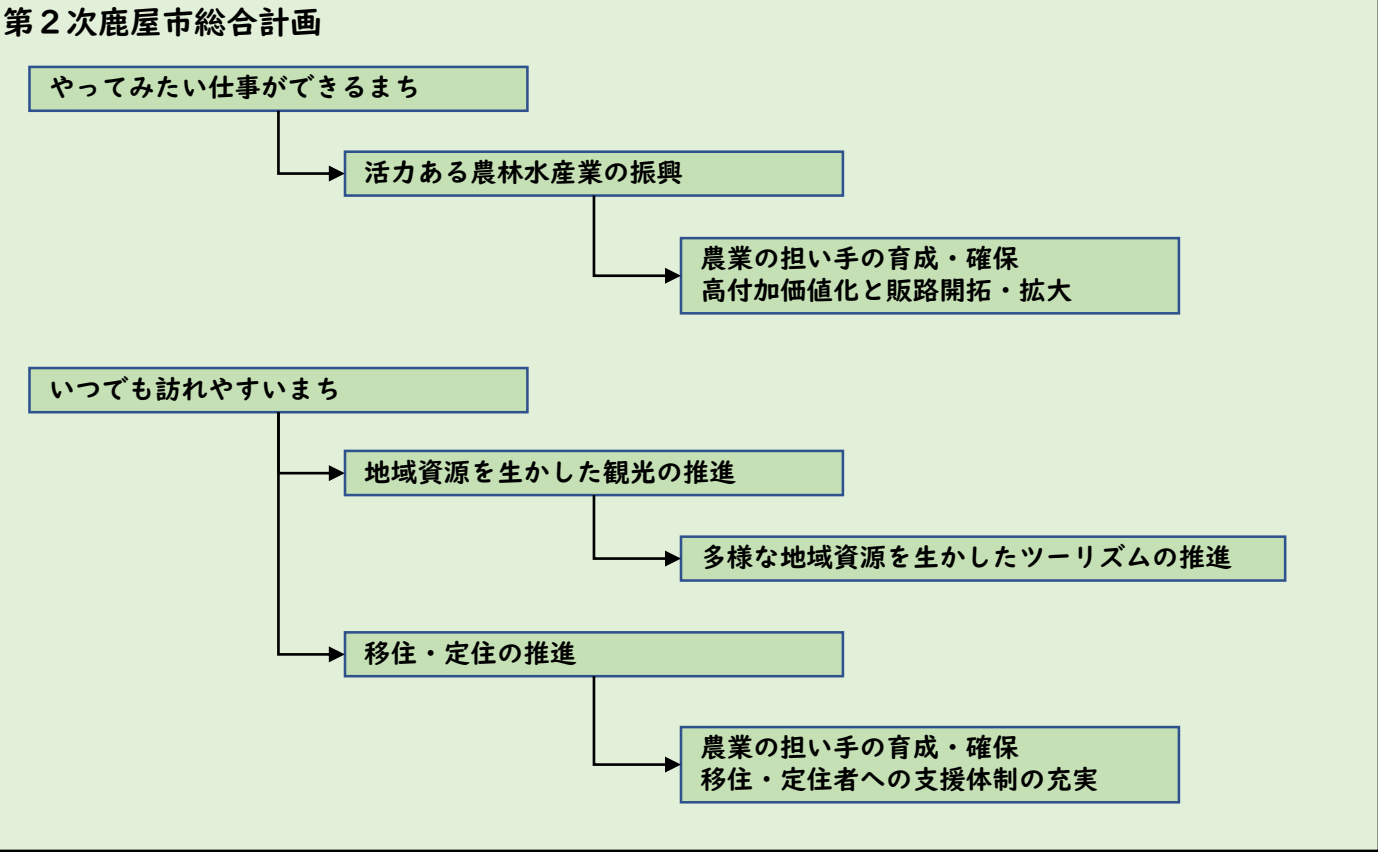
一方で、近年、SDGs（持続可能な開発目標）や「国消国産」、「地産地消」など、消費者の「食」の安全に対する関心が高まっており、観光農園が持つ農業体験、地域活性化、地域交流、環境保全、観光といった役割が見直されてきています。

このような中、社会情勢の変化に加え、様々な課題に対応し、持続可能な「観光農園」の構築に向けた推進方針を定めるため「黒羽子観光農園活性化計画」を策定するものです。

第2章 計画の位置付けと期間

本活性化計画は、次に掲げる各種計画の個別計画として、黒羽子観光農園の活性化に取り組む各種施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画として位置付けるものです。

【計画の位置付け】



第2次かのや農業・農村戦略ビジョン（令和5年度～令和14年度）

【基本施策】担い手の育成

新規就農者や農業後継者の確保・育成

多様な担い手の確保・育成

【基本施策】農村環境の保全

多面的機能の維持・発揮

【基本施策】加工・流通・販路開拓

地域6次産業化の推進
食・農との関わり強化

【重点戦略】新規就農者の研修受入体制の構築

鹿屋市観光戦略（令和4年度～令和7年度）

【具体的取組】多様な地域資源を生かしたツーリズムの推進

地域資源を生かしたメニュー開発

【具体的取組】魅力ある観光地の形成

行ってみたい観光地づくり

【重点プログラム】里山エリアを活用し、何度でも“通う旅”“帰る旅”を推進します！

【計画の期間】

本活性化計画の期間は、令和7年度を初年度とし、令和11年度までの5ヶ年とします。
なお、内容については社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて見直すこととします。

令和7年度～令和11年度

黒羽子観光農園活性化計画

第3章 黒羽子観光農園及び周辺の現状

平成6年1月の「県立大隅広域公園」開園に伴い、域内の交流人口が増加することを見込み、公園に隣接する黒羽子地区内に、平成2年度、ぶどう2戸（面積50a）の「黒羽子観光農園」として開園しました。

平成13年度には、組合員6戸で6品目（290a）を栽培し、年間を通して楽しめる大隅地域唯一の観光農園として確立。また、平成10年には、隣接地に「吾平物産館つわぶき」がオープンし、最盛期の平成11年度は、年間約8,500人が来園しました。

しかしながら近年、組合員の高齢化により、栽培品目・面積ともに減少し、令和5年度は、栽培品目4品目、栽培面積205a、来園者の多くは「いちご」の開園期間である冬場に集中しており、近年では年間約2,500人で推移しています。

黒羽子観光農園の立地する吾平南部地域は、国見山系の麓に位置し、神武天皇の御父君と御母君の御陵であり、全国でも珍しい岩屋の陵である「吾平山上陵」や過去の浄土真宗禁制の歴史を象徴する「かくれ念仏洞穴」などの歴史的施設、また、大隅アリーナやオートキャンプ場などを有する県立大隅広域公園、神野山の学校及び吾平自然公園などの観光レクリエーション施設が立地しています。



(1) 基本方針

- 基本目標
やってみたい仕事ができるまち
いつでも訪れやすいまち
- 基本施策
活力ある農林水産業の振興
地域資源を生かした観光推進
移住・定住の推進
- 具体的取組



自然の恵みを手に入れる
“こころ豊かな農業体験”

環境にやさしい農法による、一年を通して収穫体験できる観光農園やオーナー制農園、また、レクリエーションや生きがいづくりとして、自らが農作物の生産体験ができる“市民農園”、そして農産物を調理できるスペース等を整備し、農とのふれあいを推進します。

未来に紡ぐ“黒羽子観光農園”

農協や農業法人等による観光農園経営への参入を推進するとともに、半農半Xなどの新たな形態及び地域おこし協力隊による担い手の育成、国・県の新規就農制度の活用や市独自の新規就農制度の創設により、就農支援体制の整備を推進します。

多彩な魅力がひろがる
“周遊型大隅探訪”の旅

大隅広域公園及び神野など、域内はもちろん、鹿屋市観光協会や市内観光関連事業者及び株式会社おおすみ観光未来会議等と連携し、広域観光ルートへ位置付けることで、広域的な観光地づくりを推進します。
あわせて、ホームページやSNS等による情報発信に努めます。

黒羽子地域に息づく可能性
未来を耕す“地域共生の道”

農業が有する多面的機能を維持するため、地域農業者と連携し、水路や農道等の管理を行うとともに、農地集積に取組み、耕作放棄地や有休農地の解消を図り、観光農園の充実を推進します。

○ 数値目標（KPI）

年間来園者数 令和4年度 2,600人／年 → 令和12年度 5,000人／年
新たな担い手農家数 4人（既存観光農園の継承者も含む）

(2) 活性化計画の具体的取組

具体的取組Ⅰ 自然の恵みを手に入れる“こころ豊かな農業体験”

① 既存観光農園施設の整備

既存施設の整備や新たな農業資材等の導入による栽培技術の向上により、品質の高い果実生産に努めます。

(主な取組)

- ⇒ 既存ハウスの更新
- ⇒ 消費者ニーズの高い品種への更新
- ⇒ 県内の先進的な地域との交流
- ⇒ 案内看板、HP、パンフレット及びサインボード等の更新（積極的な情報発信）

② ^{つち}“壤づくりを柱とした”新たな栽培品目や景観作物等の導入

周年楽しめる観光農園を確立するため、環境にやさしい農法による新たな品目の栽培や来園者をもてなすための景観作物の導入を図ります。

(主な取組)

- ⇒ 土壌内有機微生物の活性による安全・安心な作物栽培による差別化
- ⇒ 新たな栽培品目の導入、オーナー制観光農園の開園
(いちじく、キウイフルーツ等)
- ⇒ 各種補助事業を活用した施設設備の整備
- ⇒ 景観作物の導入
(彼岸花、菜の花、ひまわり、ポピー等)
- ⇒ 美しい景観や農園のデザイン

③ 市営市民農園の整備

収穫を体験するだけではなく、自ら農に親しむ市民農園を開設やオーガニック農法に触れあうことのできる区画も併設するなど、食農教育の推進を図ります。

(主な取組)

- ⇒ 市民農園の開設
- ⇒ 管理休養施設の設置
(更衣室、シャワー室、調理スペース、農機具倉庫等)

④ イベントとエンターテイメントの充実

来園者に楽しい時間を提供する季節ごとのイベントやエンターテイメントを提供し、満足度の向上を図ります。

(主な取組)

- ⇒ 収穫イベント等の開催（開園祭）

具体的取組 2 未来に紡ぐ“黒羽子観光農園”

① 多様な担い手の育成確保

観光農園の新たな担い手を育成・確保するため、農協や農業法人等による観光農園経営への参入及び就農支援制度の充実、半農半Xによる就農並びに地域おこし協力隊の募集による支援体制の整備を図ります。

(主な取組)

- ⇒ 国の新規就農者育成総合対策事業の活用による支援体制整備
(サポート体制構築事業、就農準備資金、経営開始資金、経営発展支援事業等)
- ⇒ 農協や農業法人等の参入に向けた組織体制の整備
- ⇒ 半農半X等も対象とした新規就農支援制度の創設
(市独自の生活支援制度等)
- ⇒ 農家古民家のリフォームによる農家民泊の推進
- ⇒ 農産加工による6次産業化の推進
- ⇒ 吾平物産館「つわぶき」の利活用
- ⇒ 行政・農協等の連携による指導・相談体制の強化

具体的取組 3 多彩な魅力がひろがる“周遊型大隅探訪”の旅

令和4年3月に策定された「鹿屋市観光戦略」に基づき、黒羽子観光農園周辺の地域資源(吾平山上陵、かくれ念仏、“神野”山の学校)との周遊性を図るとともに、鹿屋市観光協会及び株式会社おおすすめ観光未来会議等と連携した周遊型大隅観光ルートの確立を図ります。

① 多様な地域資源を生かしたツーリズムの推進

(主な取組)

- ⇒ 年間を通した農業体験メニューの開発
- ⇒ 農家民泊の開業支援
- ⇒ 鹿屋(観光農園)独自のお土産の開発支援
- ⇒ 航路(高速船)を活用したツアーコースの検討

② 魅力ある観光地の形成

(主な取組)

- ⇒ 里山ツーリズム受入態勢整備
- ⇒ 案内看板、HP、パンフレット及びサインボード等の更新(積極的な情報発信)
(再掲)

③ 観光分野における広域・官民連携の強化

(主な取組)

⇒ 大隅広域観光開発推進会議及び(株)おおすみ観光未来会議との連携

具体的取組 4 黒羽子地域に息づく可能性未来を耕す“地域共生の道”

① 多面的機能の維持・発揮

地域の共同活動及び集落営農活動に積極的に参画することにより、地域資源の保全やグリーン・ツーリズムなど、地域外との交流による農村社会の活性化を図ります。

(主な取組)

⇒ 多面的機能支払交付金活動組織の設立

⇒ 農家民泊の開業支援（再掲）

⇒ 郷土料理教室等の体験活動の実施

② 地域資源を活用した“エコツーリズム”の推進

観光農園を中心とした地域資源や持続可能な生業（農業、林業、加工業）を活用した地域の情報発信と交流・関係人口の創出を推進します。

(主な取組)

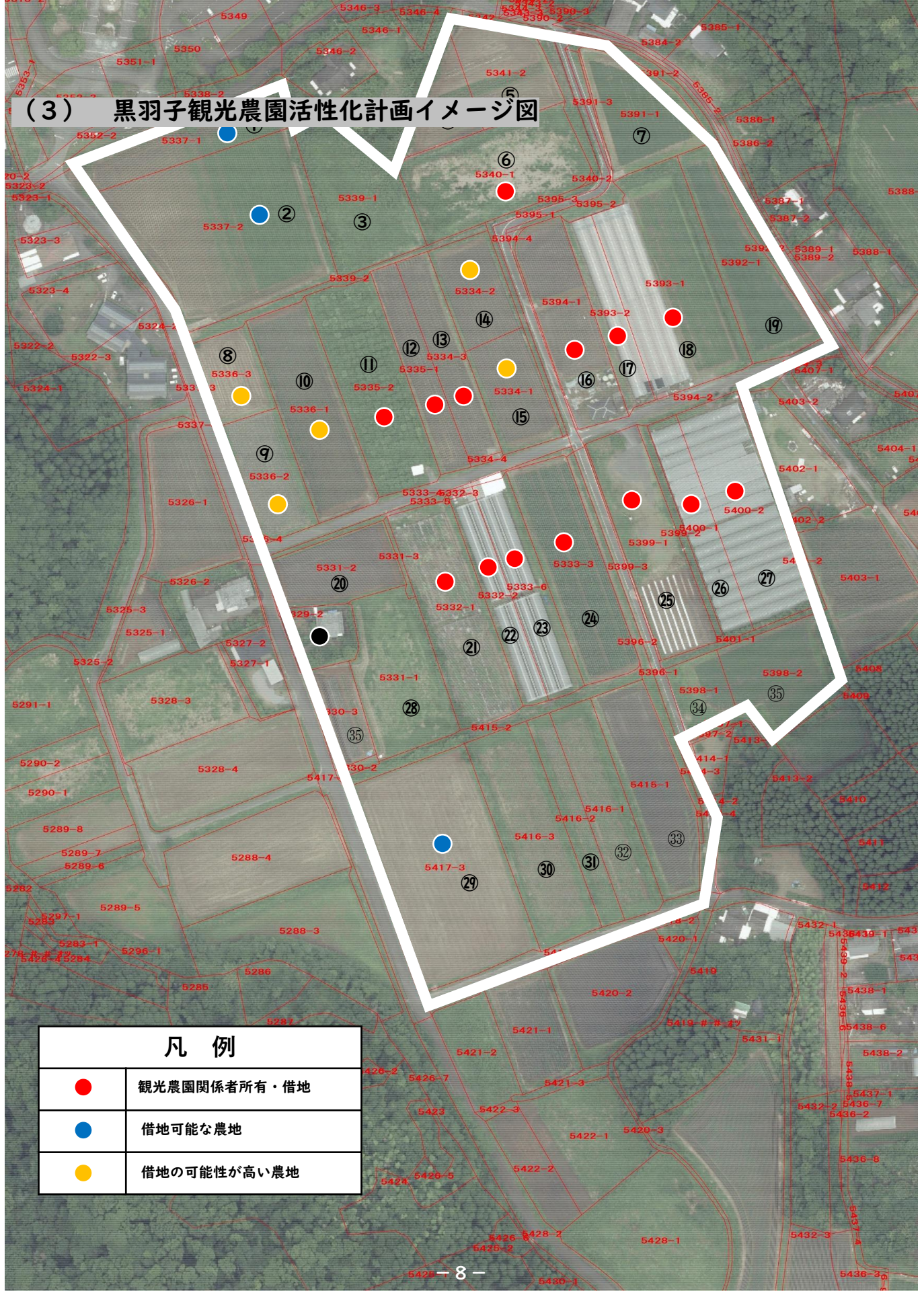
⇒ 国の「農山漁村発イノベーション推進事業・整備事業」の活用による所得と雇用機会の確保

⇒ 郷土料理（味噌うどん、猪ラーメン、ジビエベーコン、だっきしょ豆腐）、神話やしきたり（かくれ念仏）等、ディープな地域資源の活用

⇒ 農家民泊や空家を利用した農村民泊

⇒ 案内看板、HP、パンフレット及びサインボード等の更新（積極的な情報発信）（再掲）

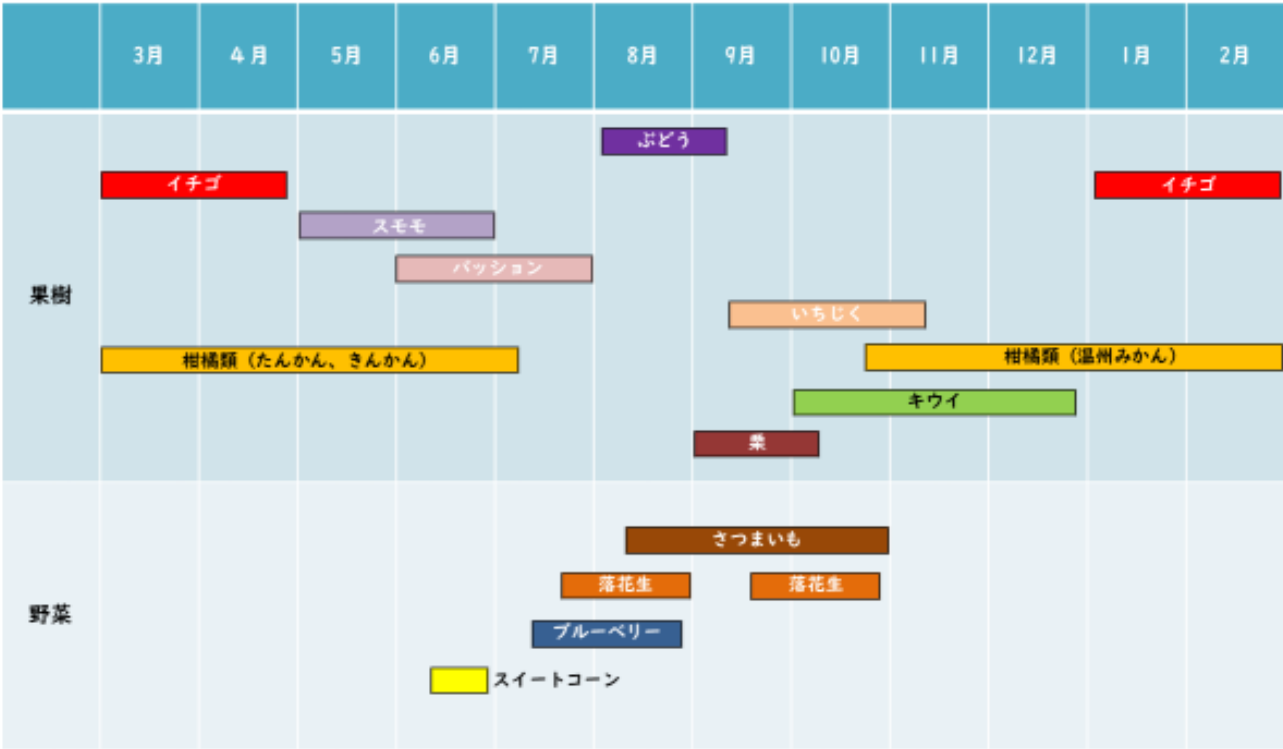
(3) 黒羽子観光農園活性化計画イメージ図



凡 例

●	観光農園関係者所有・借地
●	借地可能な農地
●	借地の可能性が高い農地

1年を通じた収穫体験のイメージ（案）



1

○ 代表的な果樹の10a収益性標準（県内でも上位と言われる経営を参考に算出。）（単位：Kg、円、hr、円/hr）

果樹名	巨峰	いちご	パッション	極早生		普通温州	ぼんかん	たんかん	キウイ	イチジク
作型	雨よけ	加温	無加温	加温	露地	露地	露地	露地	露地	露地
生産量	1,300	6,000	2,200	5,000	3,500	3,000	2,500	1,800	2,000	3,100
単価	1,086	1,128	1,129	864	211	326	254	433	800	700
粗収益	1,411,800	6,768,000	2,483,800	4,322,000	738,150	977,100	635,000	779,400	1,600,000	2,170,000
費用	442,300	1,059,303	615,072	2,249,193	197,997	165,834	174,862	294,562	180,264	625,900
販売手数料	195,572	1,749,610	520,416	862,810	250,723	252,806	126,321	163,869	420,000	173,000
農業所得	773,928	3,959,087	1,348,312	1,209,997	289,430	558,460	333,817	320,969	999,736	1,371,100
年間労働時間	329	2,315	473	465	227	207	172	186	299	743
時間単価	2,352	1,710	2,851	2,602	1,275	2,698	1,941	1,726	3,344	1,845
収穫時期	8月	1～5月	6～7月	7月	9～10月	12～2月	12～1月	2～3月	10月	8～10月

※ 吾平総合支所 産業建設課算出
費用については、減価償却費と労働費を除く。
キウイについては、香川県の収益性標準を参考。
イチジクについては、愛知県の収益性標準を参考。

○ 想定される経営モデル

Ⅰ 営農類型（主要作目の規模）

作 目	規 模	品 種	栽植密度(10a当たり)
極早生（加温）	20a	かごしま早生	3m×2m(定植時) → 4m×3m(83本)
普通温州（露地）	10a	十万温州	4m×3m(83本)
キウイ（露地）	5a	ヘイワード	5m×5m(33本)
イチジク（露地）	5a	ドーフィン	2.5m×4m(100本、一文字整枝)

Ⅱ 生育ステージ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
極早生							収穫期					
普通温州	収穫期										収穫期	
キウイ									収穫期			
イチジク								収穫期				

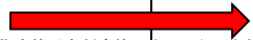
Ⅲ 収益性標準

（単位：円）

作 目	規 模	粗収益	費用	販売手数料	農業所得
極早生（加温）	20a	8,644,000	4,498,386	1,725,620	2,419,994
普通温州（露地）	10a	977,100	165,834	252,806	558,460
キウイ（露地）	5a	800,000	90,132	210,000	499,868
イチジク（露地）	5a	1,085,000	312,950	86,500	685,550
					4,163,872

※ 数字は全量市場出荷した場合の積算。

具体的取組のタイムスケジュール

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
既存施設の充実	中古ハウス新設(6連×50m)	 ハウス新設後、	シャインマスカット定植			
	既存ハウスの長寿命化					
	ニーズの高い品種に更新 新規品目の定植	 栗(3品種×各10定植)				
	トイレ改修					
	案内看板設置、パンフレット作製					
	オーナー制観光農園の整備 市民農園の整備					
	土壌有機微生物を活用した環境に やさしい観光農園への取組み		技術取得に向けた業務委託			土壌有機微生物を活用した観光農園のPR
新規就農者の育成確保	サポート体制構築事業を活用した 施設整備(ハウス、機械等)		 施設・機械整備、果樹(かんきつ類植栽)等			
	同上事業による研修生受入					
	地域おこし協力隊の受入		既存観光農園での事業継承を前提とした研修			本格的就農
	(柑橘類の定植)		 定植			
周遊型観光の取組み	物産館「つわぶき」の再生	 管理方法の検討等	 設計	 改装工事		指定管理者制度等によるつわぶき館の運営
	(指定管理者の募集)		 募集			
地域共生への取組み	観光農園の拡大による遊休農地の 解消					